UMUの可能性と 最新テクノロジーのご紹介

60%のラーニングの専門家が 2020年には、我々が予想もつかないような 学びをしているだろうと回答。

「Learners of Future」 ATD Research Report 2015



1分でわかるUMU(ユーム)





203カ国以上で展開

現在203以上の国でUMUが使われています。

UMUは世界中のラーニングにイノベーションを起こしつづけています。



取引企業10万社以上

UMUはラーニングプラットフォームとして各業界に認められています。 Fortune500企業のうち、50社が既に UMUのユーザーになっています。



ATDの

World Wideパートナー

UMUは2015~2018年の4年連続で世界最大の人材育成研究機関「ATD」のプラチナパートナーに選べれています。

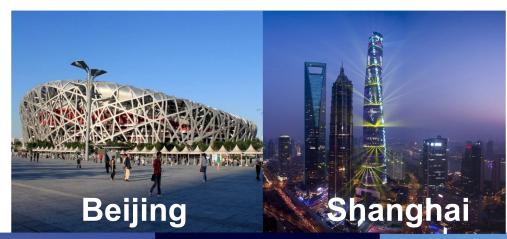


業界での高評価

UMUはラーニングや、ラーニングテクノロジー業界の専門家から高い評価を受け続けています。UMUの選択は企業や団体のイノベーション創造に直結します。

UMUは企業のイノベーションと人材育成を グローバルにサポートしています。









UMUの代表的なユーザー企業 (Global)













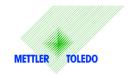






































UMUとは?



- U (You) M (Me) U (Us) の略

誰もが学習の主人公であり、それをつなげるイメージとして UMUという言葉をつくりました。

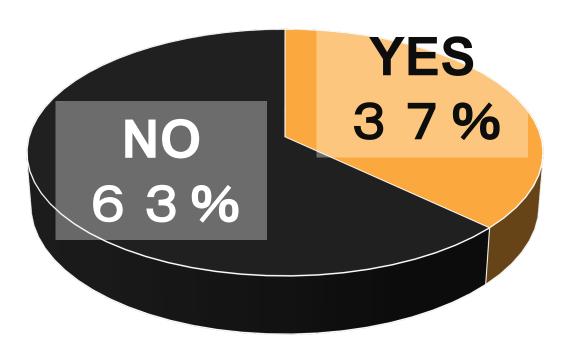
- キリンのロゴ

キリンは首が長いので、お腹いっぱい食べるには時間がかかります。 同様に、人が人生の収穫を得るには、早くから学ぶ必要があります。



学びの変革を準備していますか?

社員の学び方を理解し、 それを変革しようとしていますか?

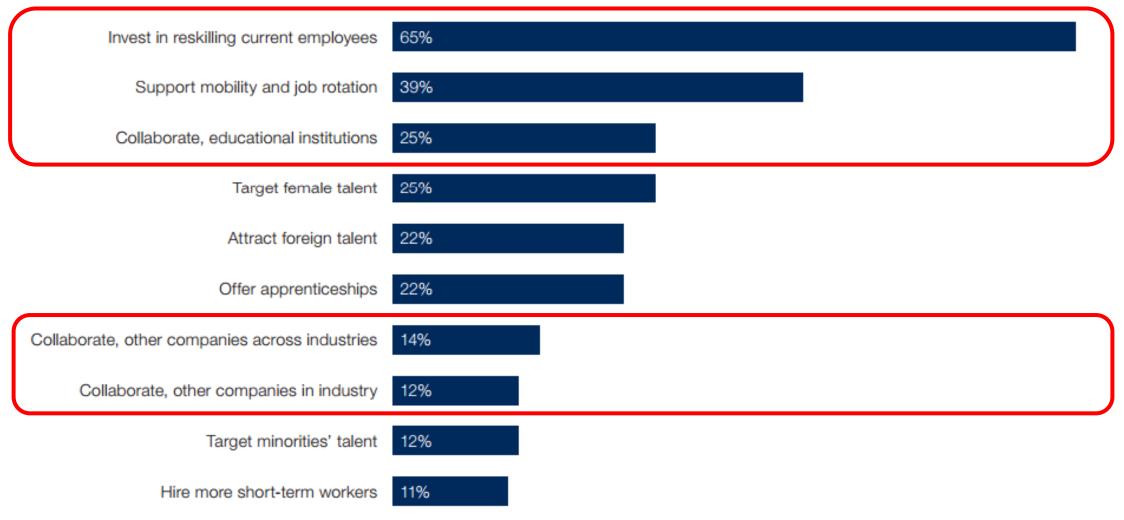


Learners of the future, ATD research report 2015



Figure 13: Future workforce strategies, industries overall

Share of respondents pursuing strategy, %



Source: Future of Jobs Survey, World Economic Forum. Note: Names of strategies have been abbreviated to ensure legibility. cf. SU31EXD Learning Disrupted!



W113

Learning to Manage and Managing to Learn in the Knowledge Economy 1

- ■低生産性、イノベーションの不振の原因は学びにある
- ■マネージャは、教育に深く関わるべきである
- ■事例:Zingerman's 食品企業 UKTV テレビ局

■Open Book Management 従業員が計数を知り、自分の仕事に置き換えて工夫をすることができる。 エンゲージメントやパフォーマンス向上に効果がある。



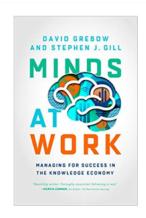
Gill, Stephen

Co-Owner

Learning to be Great, LLC



CEO
KnowledgeStar





W113

Learning to Manage and Managing to Learn in the Knowledge Economy 2

■20世紀と21世紀のマネジメントスタイル変化

20世紀の産業経済	21世紀の知識経済
命令と管理	コラボレーションとコミュニケーション
知識を持つことがパワー	知識の共有がパワー
サイロ化された組織、秘密主義	オープンな組織、透明性
働く場所	学ぶ場所
技術へのアクセス限定的	技術へ無限のアクセス
学びはPUSH型	学びはPULL型







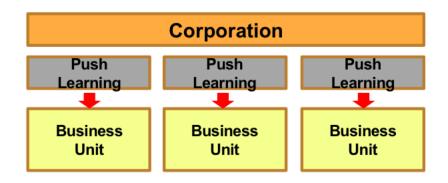
Grebow, David CEO Learning to be Great, LLC KnowledgeStar



W113

Learning to Manage and Managing to Learn in the Knowledge Economy®

■ラーニングモデル変化 人々は、HRDがトレーニングを与えるまで待てない





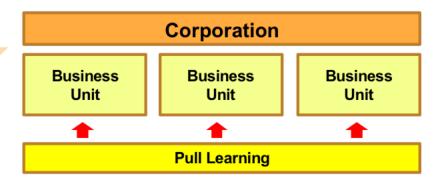
Gill, Stephen

Co-Owner

Learning to be Great, LLC



CEO
KnowledgeStar



- Learner Centric 自分に何が必要か知って自ら求めて学ぶ
- Learners collaborate内容、ソースを共有し互いに学び合う すべてパフォーマンスにつながる

New Work Environments Arriving Now



Where work* happens. **slack

* Whatever work means for you, Slack brings all the pieces and people you need together so you can actually get things done.



Work smarter, together.

From Gmail to Docs, Drive, and Calendar, collaborate with G Suite anytime, anywhere across your computer, phone, and tablet.







G Suite by Google Cloud











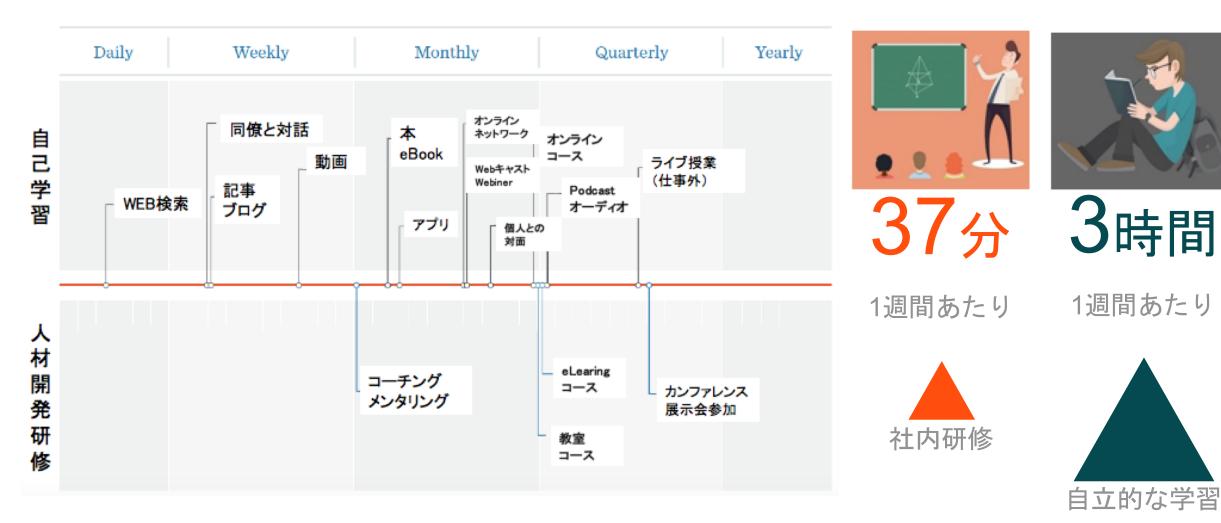






学習についての真実

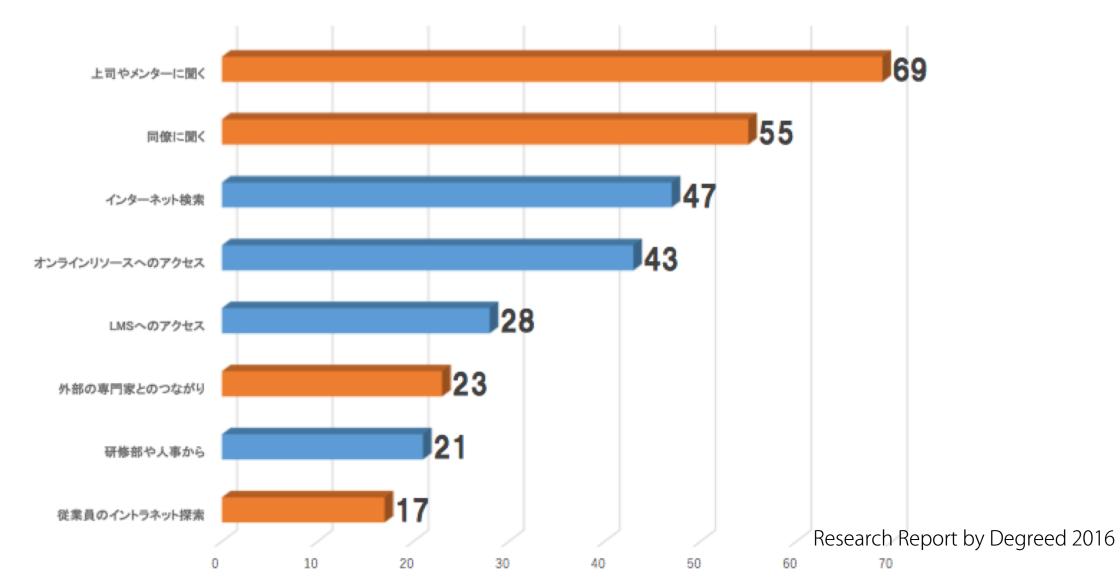
みんなどこで学んでいるの?



学習についての真実②-1

従業員は周りから学ぶ

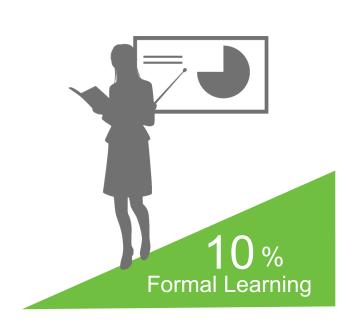
■ 従業員達の学びの仕方(%)



学習についての真実②-2

従業員は周りから学ぶ

70:20:10 の法則



20% **Social Learning** **Experiential Learning**

公式の学習 他者との関わり

仕事経験

Learning Technology Ecosystem

世界のテクノロジーを使った循環学習システム

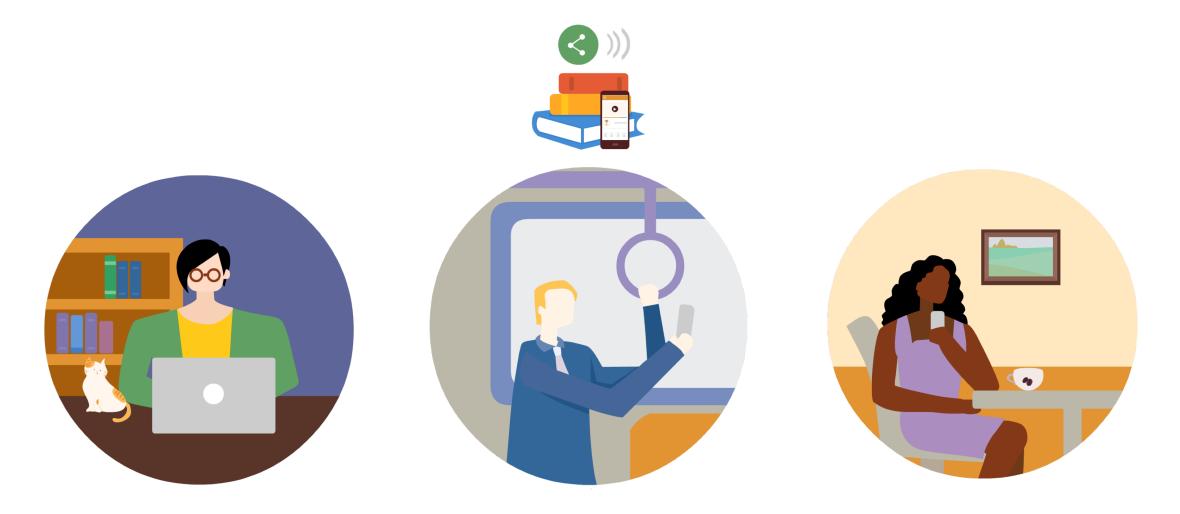




解決策①従業員にとって学びやすい環境を作る

どんな状態でも学べる環境を作る

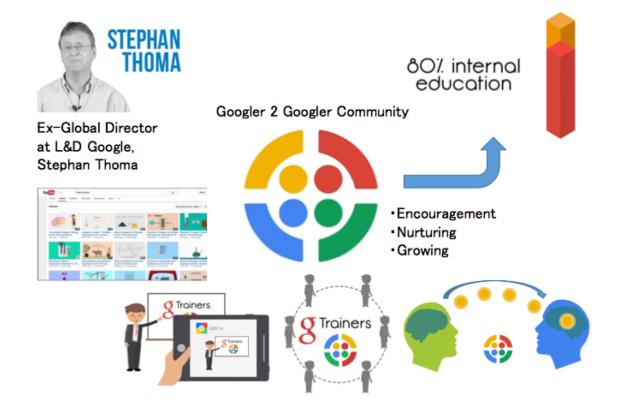
■いつでも、どこでも、忙しくても学びたくなる、モバイルツールやテクノロジー



解決策②従業員同士で勝手に学び合うしくみ

現場にあるノウハウは、 従業員同士の学び合いが最も効果が高い

■P2Pラーニングの支援事例





解決策③組織学習をファシリテートする

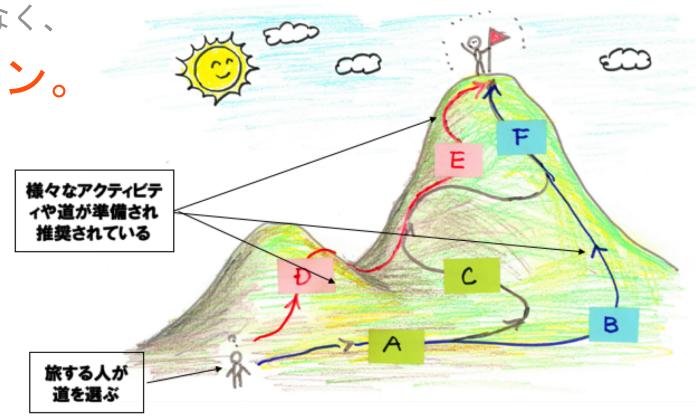
どんな経験をさせてあげられるか?が大切

大切なのは何かを教えるのではなく、皆の学習をどうデザインするか?

インストラクショナルデザインではなく、

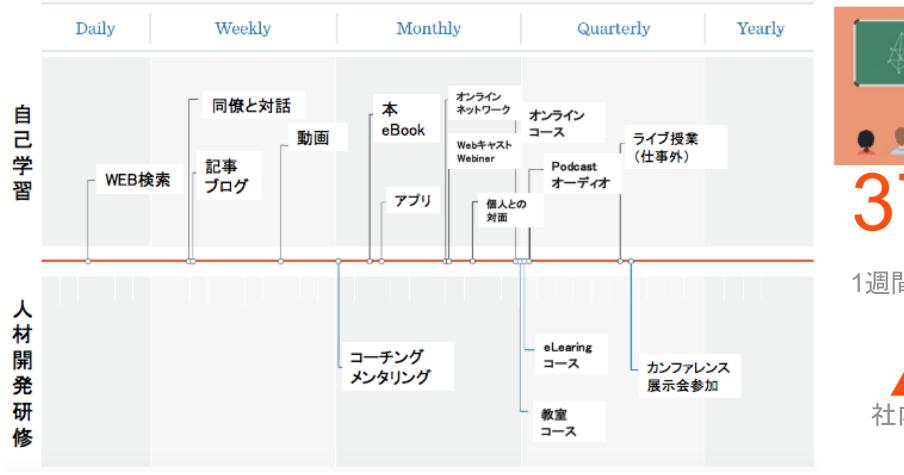
エクスペリエンスデザイン。

学びはEventからJourneyへ



学習についての真実③

みんなどこで学んでいるの?





37分

1週間あたり





3時間

1週間あたり



【まとめ】どんな学びが良いのか?解決策 これらを実現できるのはラーニングテクノロジーです

- 1)従業員にとって学びやすい環境を作る
- 2)従業員同士で勝手に学び合うしくみ

3)組織学習をファシリテートする



未来の学習予測





Robert Frey predicts the biggest internet company in 2030 will be an education business that doesn't exist today



2027年

言語処理、画像認識などのディープラーニング・ モデルが進化し、ネットワークから検索ボックスが消える

■2030年

この年以降、人工知能(AI)が必要な作業を自分で学習する

■2030年

現在の10倍のスピードでロボットから学べる。 ロボットは、オンラインで学生にレッスンを提供する。 しかも個別のニーズに応じたカスタマイズレッスンを提供する。 最も大きいインターネット企業は、現在存在していない 教育ビジネスを行う企業であろう。

https://www.facebook.com/worldeconomicforum/videos/by-2030-students-will-be-learning-from-robot-teachers-10-times/10154152062351479/